

消防職員募集

草加八潮消防局

Soka Yashio Fire Bureau



街を、人を守る 消防の使命

草加八潮消防局は、平成28年4月、埼玉県东南部に位置する草加市と八潮市の消防広域化により誕生しました。消防体制を強化し、災害の多様化や住民ニーズの変化に対応するために、消防広域化が行われました。

草加市は中川、綾瀬川下流域に拓けた都市で、東京近郊という立地もあり、平成16年4月には全国40番目の特例市に移行しました。

八潮市は中川低地の南端に位置し、首都高速道路の開通やつくばエクスプレス八潮駅の開業に伴い発展を続ける都市です。

【組織概要】

職員数:329人(うち女性21人)

庁舎・施設:1本部、2消防署、4分署所

人口:345,826人

面積:45.48km²

※令和7年4月1日現在



八潮消防署
指令センター



草加消防署谷塚ステーション



草加八潮消防局
草加消防署



草加消防署西分署

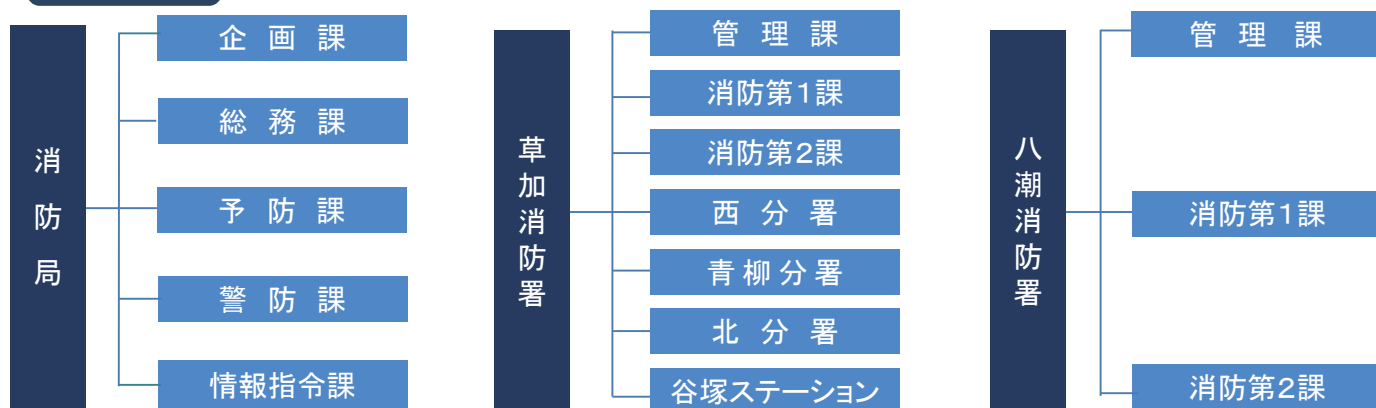


草加消防署青柳分署



草加消防署北分署

組織図



業務紹介

災害対応部隊

指揮隊

限られた部隊で災害に立ち向かうには、効率的な部隊運用が重要です。

現場の状況を素早く判断し、各部隊に指示を出す指揮隊は、災害現場の司令塔の役割を担っています。



消防隊

消防隊は、消防の基本となる部隊です。

火災に対する消火活動だけでなく、救急隊の活動支援や、防災の広報、市民の方に対する消防訓練指導など、幅広く活躍しています。



救急隊

急病人や交通事故の負傷者が発生した救急現場に出動し、素早く状態を見極め、適切な処置を施し、迅速に医療機関へ搬送する、病院前救護の専門部隊です。

また、市民の方に対する救命講習など、応急手当の普及啓発にも活躍しています。



特別救助隊

様々な救助資機材を扱い、屈強な肉体と、磨き上げた技術で災害に立ち向かう、人命救助のプロフェッショナル部隊です。

常に万全の態勢で災害に立ち向かえるよう、日々の厳しい訓練を欠かしません。



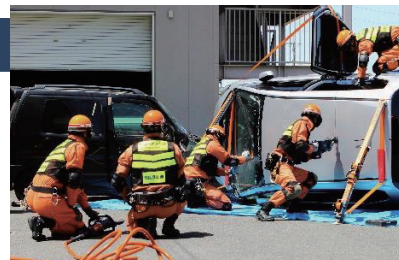
特殊災害隊

CBRNE災害のうち、C災害（化学物質によるもの）、B災害（病原体や生物兵器によるもの）に対応します。陽圧型化学防護服や除染テント、各種検知器等を装備し、毒劇物などに対する知識を有する隊員が配置される、特殊性の高い専門部隊です。



高度救助隊

高度救助隊は、人命救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員と、大規模災害にも対応可能な高度救助資機材等を整備した車両で編成される部隊です。中核市等に配置することが定められており、草加八潮消防局では広域化により配備されました。



予 防

火災原因調査

消防には、火災の原因と損害について調べる責務があり、火災現場で様々な方法を用いて調査します。

類似する火災を予防するためにも、正確な調査が求められます。



予防査察

予防査察の主な業務は、火災予防を目的として、対象となる建物等に対して実施する立入検査です。

担当する職員は、関係する法律など専門的な知識が必要となります。



指 令

指令センターでは年間約30,000件の119番通報に対応しています。通報内容から災害の種別や状況を判断し、適切な部隊を出動させます。

動揺する通報者を落ち着かせるとともに、素早く必要な情報を聴取する技術が求められる、災害対応の入り口を守るスペシャリストです。



※東埼玉消防指令センター運用について

現在、草加八潮消防局では、越谷市消防局、三郷市消防本部、吉川松伏消防組合消防本部及び春日部市消防本部と連携し、指令業務の共同運用（各消防本部の指令センターを1か所に集約し、共同で運用すること）に向けて取り組んでいます。



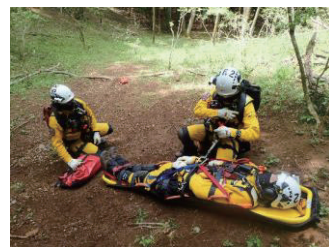
東埼玉消防指令センター 完成予想図

職員の活躍

防災航空隊への派遣

埼玉県防災航空隊で防災ヘリに搭乗する隊員を派遣しています。

常に危険と隣り合わせの業務であることから、技術、体力、精神力のすべてが優れた隊員が選ばれています。



救助技術指導会

陸上の部

平成28年度 ロープ応用登はん全国大会出場
令和元年度 ほふく救出全国大会出場



水上の部

平成28年度 複合検索・溺者搬送全国大会出場
令和5年度 溺者搬送全国大会出場



勤務体制

交替制勤務は午前8時30分から翌日の午前8時30分まで勤務に就きます。24時間のうち15時間30分は正規の勤務時間で、他の時間は休憩や仮眠時間となっています。
また、草加八潮消防局では主に2交替制勤務がとられています。

2交替制勤務サイクルの例

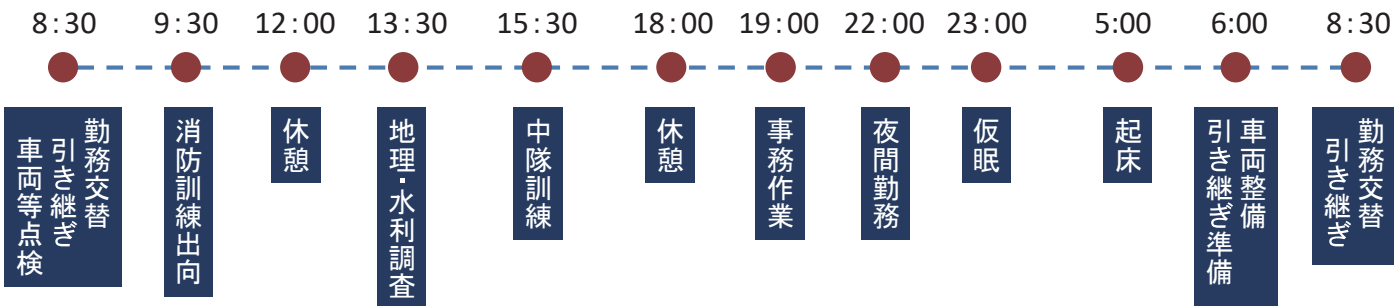
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
勤務	当番	非番	当番	非番	週休	週休	当番	非番	当番	非番	当番	非番

当番日の勤務終了後は非番日となり、勤務の必要がありません。週休日は毎日勤務の土曜日・日曜日と同様のものです。当番日は月に10～11回程度となり、その他の日は休養や自己啓発、余暇などに利用できます。

消防士の勤務

消防隊員 勤務の一例

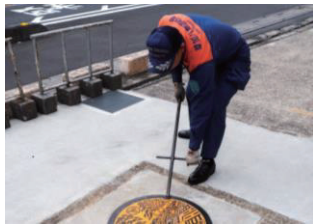
災害は24時間対応



●前日の当番職員から引き継ぎ、勤務が始まります。



●消防訓練では、火災に対する通報、初期消火、避難などの指導を行います。



●火災出動時に消防水利を確実に使用できるよう、調査を実施します。



●消耗の激しい災害現場にも耐えられるよう、十分な栄養をとります。



●災害出動時に確実に使用できるよう、車両や資器材の点検を実施します。



●心肺蘇生法やAEDの使用法など、応急手当の指導



●実際の現場を想定した訓練を実施します。



●仮眠中も素早く出動できるよう、工夫をしています。

消防士のキャリア

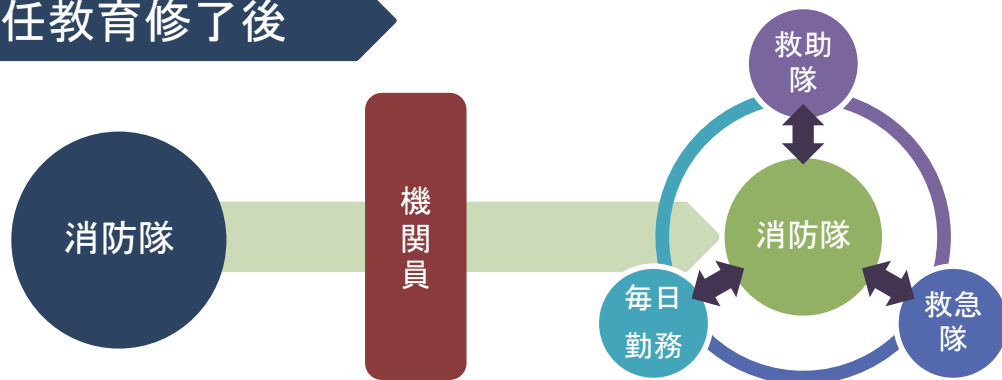
消防士のはじめの一步 初任教育

消防吏員として新たに採用された職員は、埼玉県消防学校に入校し、約6か月の初任教育を受けます。

初任教育は全寮制で行われ、県内の各消防本部（局）の仲間たちと共に、消火活動の基本的な技術や業務の知識、体力や精神力など、消防士としての基礎を身につける場です。



初任教育修了後



初任教育修了後は、基本的に消防隊に配属となります。消防の基本となる消防隊で隊員や機関員として経験を積み、職員の希望や能力等に応じて、救助隊、救急隊などに異動が行われます。

また、職員のステージに応じて、埼玉県消防学校の専科教育や消防大学校への派遣があり、さらなるスキルアップを図ることができます。

高度救助隊になるまで

消防学校
専科教育

特別
救助隊

高度
救助研修

高度
救助隊

消防学校の専科教育を受け、特別救助隊に配置された後、高度救助訓練を修了した隊員が高度救助隊に配置されます。



救急救命士になるまで



※専門学校・大学等で救急救命士資格を取得している方は、初任教育・病院実習修了後に救急救命士として業務に就きます。

消防隊

消防学校
専科教育

約2か月間

救急隊員

2000時間または
5年以上の実務経験

救急救命士
養成課程

約8か月間

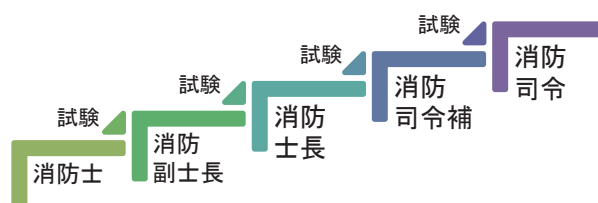
国家試験

救急救命士

昇任試験制度

草加八潮消防局では、上位の階級に昇任するために多くの試験を受験する必要があります。

これは、年功序列ではなく、「努力した職員を認め、昇任させる」実力主義に基づいた取り組みです。



勤務条件等

初任給

※令和7年4月1日 実績

学歴等	給料	地域手当 (6%)	合計
大学卒	245,800円	14,748円	260,548円
短大卒	230,400円	13,824円	244,224円
高校卒	211,600円	12,696円	224,296円

各種手当

対象職員に通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当、期末・勤勉手当などの手当が支給されます。

休暇

【休日】

- 毎日勤務職員
土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
- 2交替制勤務職員
4週につき8日

【休暇】

年次有給休暇日数 1年度につき20日
夏季休暇、病気休暇、結婚・出産等に関する休暇など

福利厚生

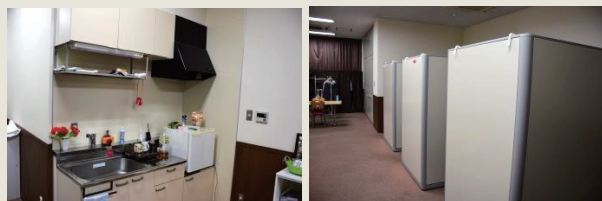
埼玉県市町村職員共済組合の各種助成制度が利用できます。
宿泊施設やレクリエーション施設の利用で助成が受けられます。

草加八潮消防局では多くの女性が活躍中

「消防は男性の職場」というイメージがあるようですが、そんなことはありません。傷病者が女性やお子さんである場合、「女性の隊員が来てくれて安心した」という声をいただくこともたくさんあります。

女性職員の活躍の場は、消防隊、救急隊、毎日勤務と幅広く、妊娠・出産や子育てというライフイベントを経て、さらに活躍しています。

女性専用施設



2署3分署で女性専用の更衣室・仮眠室を備えており、プライバシーにも配慮しています。



【女性の配置状況】 ※令和7年4月1日現在

毎日勤務: 10人
交替制勤務: 11人
(指令員1名・消防隊: 4人・救急隊: 6人)

出産・育児支援制度

- ①産前産後休暇 ②育児休業
- ③育児短時間勤務 ④部分休業

誰もが働きやすい職場を目指して

草加八潮消防局はハラスメントを許さず、早期に対応することに取り組んでいます。職員がハラスメントを受けたり、目撃したとき、一人で悩むことが無いように、職場内に相談窓口を設置しています。相談は電話やメールも可能で、内容は秘密を厳守します。相談結果は必要に応じて消防長に報告され、相談者了承のもと調査、対応されます。

また、出産育児の際の休暇の利用促進や、介護制度の周知等、高年齢職員の短時間勤務など、消防局を支える大切な職員がそれぞれの環境を互いに理解し尊重し合う、誰もが働きやすい職場を目指しています。

採用試験

求める人材像

挑戦

現状に満足せず、常に向上と改善を求めて挑戦する姿勢を持つ人

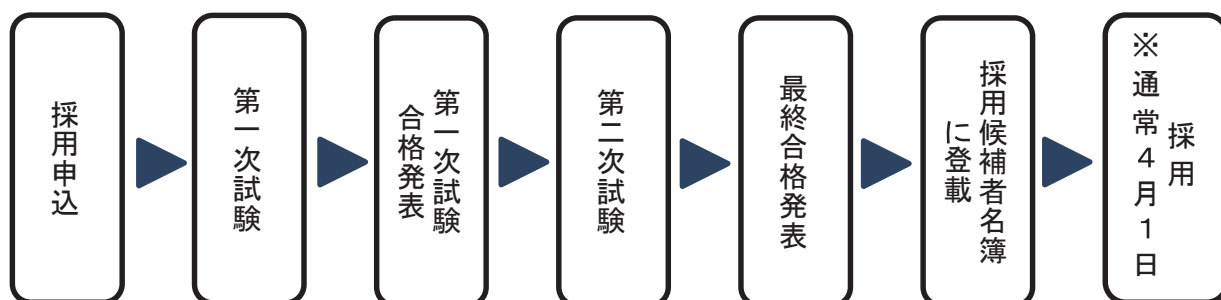
協調

共に働く仲間を支え、繋がりを強固にすることで組織力を高められる人

自立

プロフェッショナルとしての自覚を持ち、いかなる状況でも自らを律し、冷静に行動できる人

申込から採用まで



募集要項(申込書)入手方法

- ホームページからダウンロード
草加八潮消防組合ホームページからダウンロード、印刷し使用できます。
- 草加八潮消防組合各消防署・分署所で受取
採用公表日から申込締切日まで各施設で配布しています。

申込方法

- 持参
草加八潮消防局総務課（平日午前9時から午後5時まで）
- 郵送
申込期間内必着

【詳細については、募集要項を御覧ください】

草加八潮消防局総務課
〒340-0012
埼玉県草加市神明2-2-2
Tel:048-924-2112
Fax:048-924-0963

消防局ホームページ 人事・採用関係

<https://soka-yashio119.jp/overview/jinji.html>

